

大綱改定の主なポイント

1 学ぶ意欲を高める学校教育の推進～全国に誇れる学力を目指す学びの質の向上～

④「授業改革の推進」

- ・特に算数・数学、理科等の課題解決に向け、課題解決に向けた取組を行う授業研究会等にアドバイザーを派遣。拠点校を中核にして授業改革を行い、その成果を全県に普及
- ・学力定着等に成果が期待される小学校高学年における教科担任制をモデル的に導入

⑤「高大接続システム改革への対応」…新規項目立て

- ・専門講師を招聘してアクティブ・ラーニングを取り入れた授業へと改革
- ・「21世紀型学力検討委員会」を設置し、具体的な授業改革や教育課程の編成について検討

⑥「ICT活用教育の推進」

- ・情報モラル教育に取り組む指定中学校区で小中9年間の指導計画作成し、全県に普及

⑧「グローバル化に対応した英語教育の推進」

- ・海外高等教育機関との交流を進める

⑨「キャリア教育の充実」

- ・地域の産業界や教育機関等と連携し、農林水産業、6次産業化など地域産業の担い手を育成

2 社会全体で学び続ける環境づくり～協働連携して取り組む家庭・地域教育の推進～

①「学校、家庭、地域が連携して子どもを育てる体制づくりの推進」

- ・「鳥取県家庭教育推進協力企業制度」の周知と拡充により、社会全体で家庭教育を支援

⑤「家庭教育の充実」

- ・個々の家庭の課題に応じて必要な支援が届くよう家庭訪問型アウトリーチ支援の取組を促進

⑥「子どもが成長する安全・安心な居場所づくり」…新規項目立て

- ・困難な家庭環境にある子どもたちが、社会性を身につけ、自己肯定感を高めていけるよう、多様な体験活動を通じて学ぶ、子どもの居場所づくりを支援

3 学校を支える教育環境の充実～安全・安心に学べる教育環境づくり～

②「安心して学べる学校教育の推進」

- ・県内のスクールソーシャルワーカーに対して適切な支援ができるスーパーバイザーを配置

③「**貧困の連鎖を断ち切る学習支援の充実**」…新規項目立て

- ・ 経済的な理由や家庭の事情により、大学進学等を断念しない仕組みづくり
- ・ 学習が遅れがちな中学生等が放課後や土曜日、長期休業中に学習できる環境を地域人材を活用しながら整備

④「**フリースクール活用など多様な学びの場の確保**」…新規項目立て

- ・ 主に不登校等の児童生徒に対する集団生活への適応の場、学校復帰等に向けた学びの場として活用する際の判断の一助となる基準の整備
- ・ 基準に適合するフリースクールへの運営費支援

⑦「**教職員の多忙解消・負担感軽減**」

- ・ 学校カイゼン活動を進めるほか、学校業務の負担軽減を図る校務支援システムの共同調達について検討

4 **一人ひとりのニーズに対応した特別支援教育の充実**
～個々の障がいの種類や程度に応じた教育の提供～

③「**特別支援教育における医療的ケア実施体制の充実**」

- ・ 学校看護師、教員に対する研修を充実させることにより、看護師と教員が協働した医療的ケア実施体制を構築

④「**手話教育の推進**」

- ・ 県立高校において言語である手話のカリキュラムへの導入、手話学習事例集の活用など、手話を学ぶ機会を拡大

5 **スポーツ・文化の振興**

～運動・スポーツに親しむ環境づくり、文化・伝統の継承、創造、再発見～

②「**トップアスリートの育成**」

- ・ 選手の指導にあたる教員指導者について、選手指導等に専念させる体制を整備

学力向上の指標

- ・ 全国学力・学習状況調査において、中学3年生の各教科の最上位層の割合が、同生徒が小学校6年生時の各教科の最上位層の割合を上回る
- ・ 全国学力・学習状況調査において、中学3年生の各教科の最下位層の割合が、同生徒が小学校6年生時の各教科の最下位層の割合を下回る